

# 質 問 通 告 一 覧

第7回島田市女性議会  
令和2年8月1日

島 田 市

◎ 発言順位

	(頁)
1番 鈴木莉奈 さん (一問一答) -----	1
2番 中田 遥 さん (一問一答) -----	2
3番 藤田真由佳 さん (一問一答) -----	3

1. 1番 鈴木 莉奈 さん (一問一答)

1. 災害時における高齢者への支援や取り組みについて

日本各地は数々の地震による災害により被害を受けてきた。私たちが暮らす島田市も南海トラフ地震による大きな被害が予想される。この状況下での高齢化に伴った支援はどのように行っているか。以下伺う。

- (1) 現在の島田市の高齢者の割合と今後の割合の推移はどのようなものか。
- (2) 防災訓練に参加が難しい高齢者の方々の防災に対する理解を深める場が必要だと考えるが、市はどのように取り組んでいるのか。
- (3) 避難生活を高齢者等とトラブルがなく過ごせるように理解を広める必要があると考える。市としての働きかけはあるか。
- (4) 南海トラフ地震等の大規模な地震を想定した対策として何か実施していることはあるか。

## 2. 2番 中田 遥 さん (一問一答)

### 1. 医療機器を必要とする寝たきりの要支援者避難について

医療機器を必要とする在宅介護にはさまざまな課題があり、特に風水害などによる事前避難に関しては、実際に人工呼吸器を装着している家族と2018年の台風19号を体験し、大きな課題があると感じた。

例えば、停電や浸水に備え、事前避難を希望した場合、避難先として受け入れてくれる機関を探すことの難しさ、移動手段の手配、天候や体調を考慮して何日か前からの避難が必要となることなど、避難するまでの調整が難しいことなどが挙げられる。このような困難を抱えた人の避難について、市の考えを以下伺う。

- (1) 島田市が想定している避難行動要支援者とは、どのような人たちのことか。また、要支援者の避難はどのような対策・支援が行われるか。
- (2) 災害弱者の支援のための福祉避難所とは、どのような設備が整った施設か。また、要支援者の避難は、何人受け入れることを想定しているか。
- (3) 医療機器を必要とするような人の避難対応についてはどのように考えるか。
- (4) 近年変化しつつある風水害の威力もあり事前避難も必要となる中、島田市民病院へ医療機器を必要とする要支援者を事前避難として受け入れが可能となれば大変心強く安心できると思う。今後の課題として検討いただくことは可能か。

### 2. 新型コロナウイルス感染症下に起きた在宅介護に必要となる医療品不足問題について

昨今の新型コロナウイルスの感染症下において、通常であれば定期的に購入できる在宅医療用のアルコールや蒸留水といった医療品が不足する事態が起き、医療機器を必要とする在宅介護者にとっては死活問題となっている。そこで、以下伺う。

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大防止として手洗いとともに、アルコールによる手指消毒の必要性も呼びかけられている。そのような中、医療機器を装着している場合の在宅介護では、定期的に医療用のアルコールが必要となるのに対し、安定的な入手が困難な状況が起きている。こういった状況を市として把握していたか。また何か対応を行ってきたか。
- (2) 県外への移動も再開され、今後、第2波・3波が懸念される中、再び感染拡大となった場合、さらなるアルコールなどの医療品不足が予想できるが、市としてこれに備え何か対応は考えているか
- (3) 今後の対策として、市と企業、医療機関が連携を取り、「在宅医療枠」として医療用アルコールを在宅介護者用に確保し、定期的に安心して購入できるような体制をとるなどの対策の検討を願いたいがか。

### 3. 3番 藤田 真由佳 さん (一問一答)

#### 1. 市内のコミュニティの広がりについて

定年退職をして新しい趣味を見つけたり、若い人が新しいコミュニケーションの場を広げたりしようと思ったとき、市が主催する講座やセミナー（入場無料やワンコインなど、参加しやすい価格設定の講座等）があれば、市民が嬉しいのではないだろうか。例えば、高齢者が新しい趣味を見つけるきっかけづくりとして、編み物教室や携帯セミナーに参加し、そこで新しい仲間作りができたなら、もっと楽しい生活が送れると思う。どのような年代になっても、人と人が接する喜びや新しいことを発見する刺激は、大切なことだと考える。そこで、以下伺う。

- (1) 島田市が主催する趣味や習い事に関するセミナーなどの講座はどういったものがあるか。
- (2) 講座の宣伝方法を既存の広報紙などに限らず、WEBやコミュニティFMなどを活用して発信できるか。
- (3) 講座のPRと同時に、市の魅力をPRすることはできるか。例えば、講座で島田の「お茶」と「お菓子」を無料提供したらどうか。

#### 2. 高齢者の健康づくりや生きがいづくりについて

高齢者が新しい発見や生きがいを得ることは大切なことであり、また、生きがいは認知症予防など健康維持にもつながると言われているので、コミュニティづくりと併せて高齢者の生きがいとなるような事業を開催してほしいと思うがいかがか。

- (1) 高齢者向けの講座にはどのようなものがあるか。
- (2) 高齢者向きの認知症予防の講座を増やしたらどうか。